

児童虐待防止対策の推進

11月は、こども家庭庁が主唱する「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」が実施されます。

令和4年中、岡山県内において、警察が児童虐待として児童相談所に通告した児童数は1,359人で、過去最多となっています。

児童虐待を防止していくためには、周りの大人達がいち早く子どものサインに気付き、警察や児童相談所などに通報することが大切です。

虐待を受けている子どものサインは、「体に傷やアザがある」「怒鳴り声や泣き声が度々聞こえる」「着衣がひどく汚れている」など、「虐待かも」と思ったら、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」（24時間受付）に通報しましょう。

近くの警察署、交番等でも児童虐待に関する相談を受け付けています。緊急の場合には迷わず110番通報をしてください。

あなたの通報が子どもたちの命を救います。

